

FUKAYA News Release

市長定例記者会見次第

令和 8 年 1 月 28 日 (水)
午前 10 時 30 分～

1. あいさつ

2. 発表内容

ページ

(1) 【教育と子育てを支える魅力ある拠点を創出】

1

深谷市立ふかや幼稚園・こどもふっかパークがオープン

次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：令和 8 年 2 月 13 日 (金) 午前 10 時 30 分～11 時 30 分

教育と子育てを支える魅力ある拠点を創出

深谷市立ふかや幼稚園・こどもふつかパークがオープン

■ 概要

深谷市では、教育と子育てを支える魅力ある拠点の創出を基本コンセプトに、1階を『深谷市立ふかや幼稚園』、1階の一部と2階を県内最大級の屋内遊戯施設『こどもふつかパーク』とする複合施設を4月にオープンします。

複合施設のオープンに向けて、落成式や内覧会などのスケジュールをご案内します。



▲こどもふつかパークエントランス

■ 落成式

と き 3月14日（土）午前10時～正午

と こ ろ こどもふつかパークわんぱくアリーナ（仲町20-1）

内 容 主催者あいさつ、来賓あいさつ、テープカット、アトラクション
※取材申し込みは、後日ご案内します。

■ 内覧会

と き 3月14日（土）午後1時～4時

3月15日（日）午前10時～午後4時

と こ ろ こどもふつかパーク（仲町20-1）、ふかや幼稚園（20-3）

■ プレオープン（こどもふつかパーク）

対 象 市内在住のこども（平成20年4月2日以降に生まれのかた）と付き添いの大人

と き 3月20日（祝）・28日（土）各日午前9時～午後4時

と こ ろ こどもふつかパーク

内 容 こどもふつかパーク内で自由に遊べます。利用方法などの詳細は市ホームページでお知らせします。

※入場の際に『こどもふつかパーク利用カード』が必要です。

■ 開園・開館

と き 4月1日（水）

深谷市立ふかや幼稚園：午前8時30分～

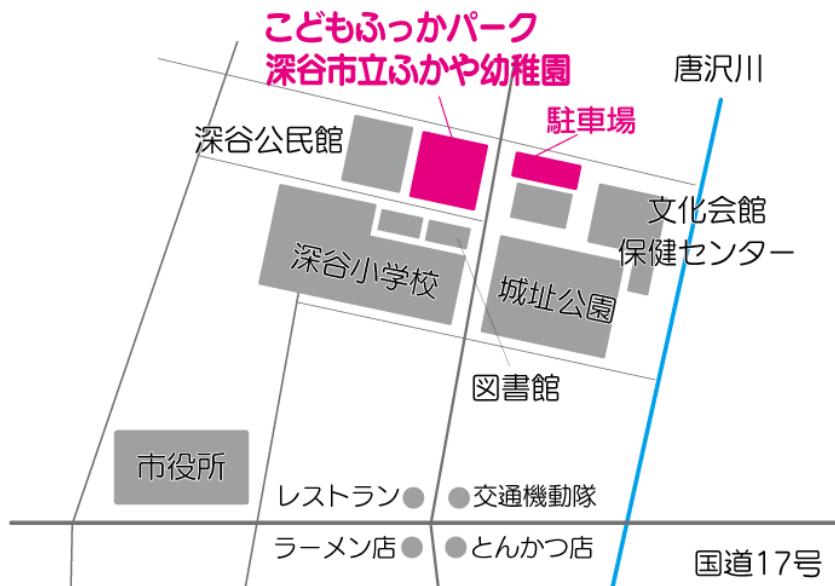
こどもふつかパーク：午後1時～

■ 施設概要

こどもふつかパークは、0歳から18歳までのこどもたちが安心して遊び・学ぶことができ、保護者同士が交流し相談できる施設です。

住 所 地	仲町20-1 (こどもふつかパーク) 仲町20-3 (ふかや幼稚園)
敷 地 面 積	約6,000m ²
建物床面積	こどもふつかパーク：約3,200m ² 、 幼稚園：約1,400m ² 、給食場：約300m ²

■ 地図



■ 問い合わせ先

こどもふつかパークに関すること

深谷市こども未来部 こども青少年課 ☎048-574-6646

深谷市立ふかや幼稚園に関するこ

深谷市教育委員会教育部 教育総務課 ☎048-574-5811

建設工事に関するこ

深谷市教育委員会教育部 教育施設課 ☎048-573-9280

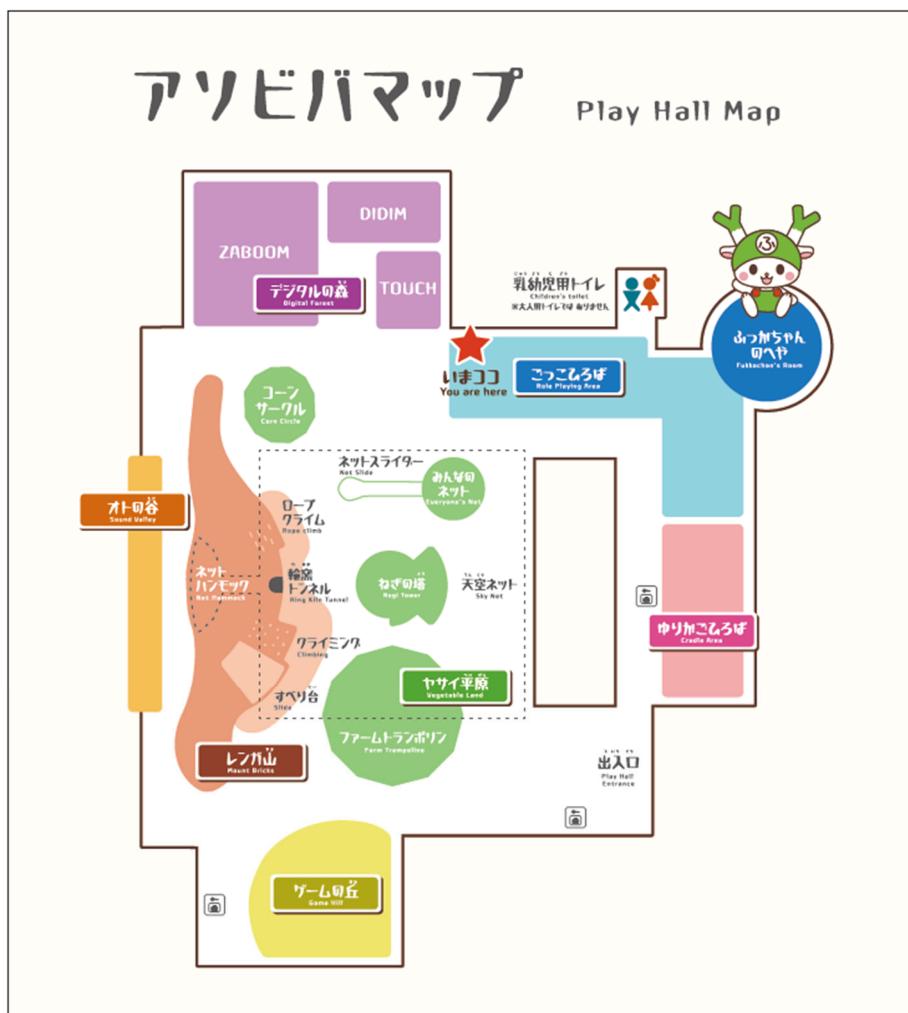
こどもふっかパークの見どころ

1 約 900 m²の大空間が広がる「アソビバ」

こどもふつかパークの中心となる「アソビバ」は、約 900 m²の広さを誇る大空間。ここでは、こどもたち一人ひとりの「好き！」に応える、大型遊具、デジタル遊具、インクルーシブ遊具などのあそびの体験が広がります。

アソビバは7つのエリアに分かれており、それぞれのテーマに沿った遊具や仕掛けが設置されています。

- 1 ゆりかごひろば：安心感の中で創造力を育む、あたたかなエリア
 - 2 ごっこひろば：なりきり遊びで想像力を広げる、ごっこあそびエリア
 - 3 ヤサイ平原：多様な感性に応える大型遊具の冒険エリア
 - 4 ゲームの丘：仲間との絆や新しい友達をつくるボード・カードゲームエリア
 - 5 オトの谷：音とふれあい、感性を育てる音の体験エリア
 - 6 レンガ山：登ったり滑ったり、身体を思いきり動かせる立体遊具エリア
 - 7 デジタルの森：デジタル技術で運動と想像を広げる未来エリア



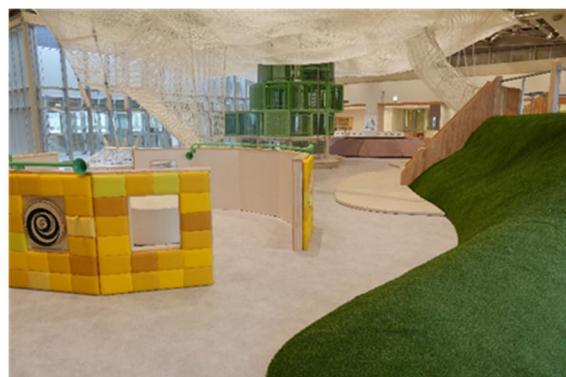
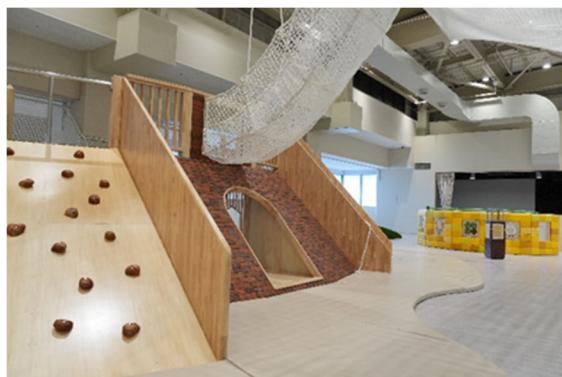
2 ごっこひろばに建てられた「ふっかちゃんのへや」

こどもたちに大人気の深谷市イメージキャラクター「ふっかちゃん」のお部屋が、ごっこひろばに登場します！お部屋には、ふっかちゃんのベッドやクローゼット、キッチンなどが再現されており、まるでふっかちゃんの暮らしを体験しているかのような空間が広がります。お庭で育てた野菜を収穫してキッチンで調理したり、ふっかちゃんのベッドでお昼寝ごっこをしたりと、想像力をふくらませながら自由に遊ぶことができます。さらに、なりきり衣装を着てふっかちゃんに変身し、記念写真を撮ることも可能。こどもたちの「なりたい！」を叶える、夢いっぱいのごっこ遊びエリアです。



3 大型遊具が設置された「ヤサイ平原とレンガ山」

「ヤサイ平原とレンガ山」は、大型遊具を中心に構成された、こどもたちの冒険心と創造力を刺激するエリアです。「ヤサイ平原」には、ネギの塔を中心に、天空ネット、ネットスライダー、コーンサークルなどがあり、「レンガ山」では、すべり台やクライミングなどで遊べます。ここでは、運動・協力・想像など、さまざまな感性や興味に応じた遊びが展開され、こどもたちは自分らしい楽しみ方を見つけながら、のびのびと成長していきます。ここは、すべてのこどもたちの「好き！」と「楽しい！」に応える、心と体を育むエリアです。



4 デジタル遊具が設置された「デジタルの森」

「デジタルの森」では、最新のデジタル技術を活用した3種類のデジタル遊具を設置し、こどもたちの運動機能や想像力を自然に引き出す体験を提供します。

また、1階エントランスホールには「すぐすぐスケール（デジタル身長計）」を設置しています。モニターには、深谷市の人気キャラクター「ふっかちゃん」や、郷土の偉人・渋沢栄一翁、さらには地元の野菜たちが登場し、こどもたちの成長を楽しく記録するほか、記念写真として思い出に残すことができます。

《写真は全てイメージ》



▲ZABOOM（ザブーン）



▲TOUCH（タッチ）



▲DIDIM（ディディム）

5 2階テラスの「アビルバ」

「アビルバ」は、こどもたちが水遊びを楽しんだり、親子でゆったりと休憩したりできる、開放感あふれる水あそびスペースです。

水深は浅く設計されており、水に慣れていない小さなお子さんでも安心して遊べる環境が整っています。噴水の水しぶきを浴びて涼んだり、水のトンネルをくぐつたりと、全身で水の心地よさを感じながら、思いきり遊ぶことができます。

また、更衣室や日陰の見守りスペースも完備しており、保護者のかたも安心してこどもを見守ることができます。太陽の下でキラキラと輝く水とふれあいながら、親子で心地よいひとときを過ごせるエリアです。



※その他にも、自由に身体を動かせる「わんぱくアリーナ」、音楽やダンスの練習ができる「ケイコバ」、工作・調理ができる「ツクルバ」、図書室「ヨメルバ」、自習室「マナビバ」などを設けており、多様な遊びと学びの体験ができます。